

平成27年度

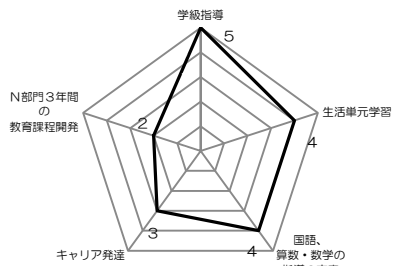
学校評価 集計結果とまとめ 総括



この「総括」は、学校評価に答えていただいた全ての協議委員、保護者、教職員の回答を項目ごとにまとめ、平均値をチャート化して表したものです。
詳しくは、別配の「平成27年度 学校評価 集計結果とまとめ」をご覧ください。

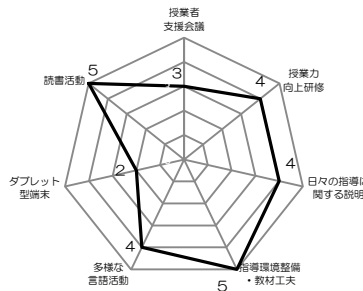
東京都立鹿本学園

1. 教育課程の充実



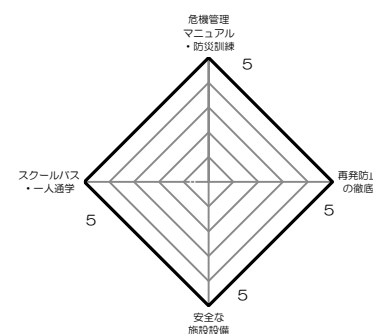
連絡帳等における保護者と教員の連携、外部専門家のアドバイスを生かした個別学習へ高評価をいただきました。キャリア発達の視点や、生活単元学習の質的向上を意識した学習活動には課題が挙げられましたので、さらに検討を進めていきます。N部門中学部の教育課程は、未実施ということで未記入が目立ちました。来年度の実施を受け、系統性の確立に努めます。

2. 授業力の向上



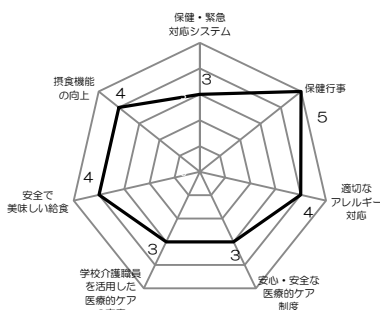
授業者支援会議の活用への意欲が見られる反面、未実施者の未記入も多く見られました。更なる意欲向上に努めます。またオープンライブラリーの活用や指導環境の整備については、期待の高いことがわかりました。要望もたくさん挙げられましたので、検討していきます。タブレット端末の利用技術の向上方法にも、努めていきます。

3. 生活指導体制の構築



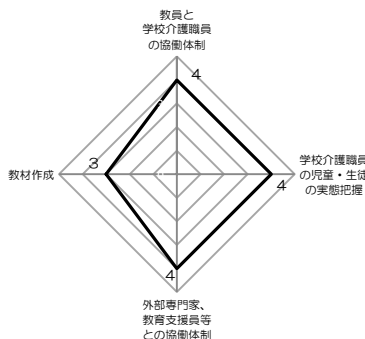
どの項目についても高い評価をいただきましたが、万一の事故や災害を意識し、施設面の更なる改善を求める声や、訓練のより有効な実施についての意見が多くあげられました。全校での、安全な対応方法及び注意事項についての周知徹底とともに、事故の再発防止に努めます。

4. 保健給食体制の構築



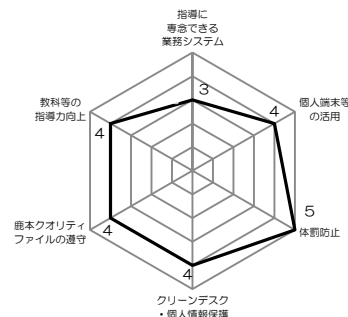
保健・緊急対応システムについては、実際に見ていないからわからないという未記入が多くありましたが、部門に関わらず看護教諭が子供の様子を把握できているという点では、一定の評価をいただきました。今後は、学校介護職員の医療的ケアの実施者の増加や、校外での活動におけるアレルギーチェック体制の確立に努めます。

5. 専門性ある人材の活用



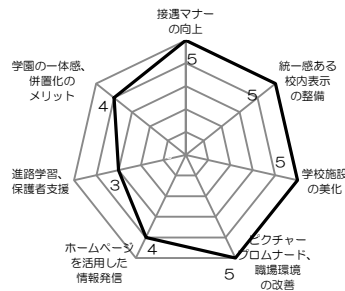
学校介護職員は導入2年目ということで、児童・生徒の実態把握や教員との協働体制やについての理解が深まりました。引き続き、教員との連携や共通理解を図るよう努めます。外部専門家や教育支援員への保護者の期待は高いので、効率的なアセスメントの進め方への検討を進め、計画していきます。

6. 学校組織の確立と教職員の行動指針



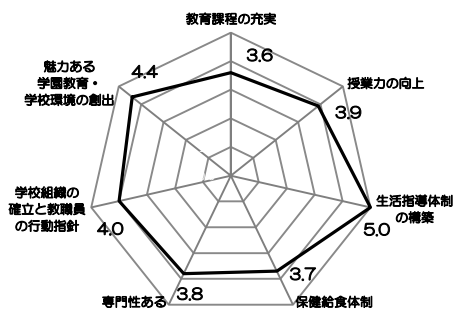
開校2年目を迎え、業務システムや個人端末の活用については、より良い学校運営に向けて様々な意見が挙げられました。継続して、課題の解決とより効率的なシステム作りに向け、検討を進めます。また、鹿本学園で学んでよかったと誇りをもてる学校となるよう、教職員個々の資質向上と指導力の向上に努めていきます。

7. 魅力ある学園教育・学校環境の創出



ピクチャープロムナードをはじめ、学校施設の美化や表示について、高い評価をいただきました。また、併置校としての理解が深められる中、S部門N部門の行事以外の場での更なる交流を求める声も多く挙げられました。図書館やカフェでの交流は増えていますが、交流の在り方については、今後も検討を進めて参ります。朝の欠席連絡等の徹底にも、努めます。

8. 総括



鹿本学園も開校2年目を迎え、様々な活動や取り組みが軌道に乗ってくると同時に、実際に動き始める中での課題も明確になってきました。ですが全体的には、どの項目についても概ね評価していただくことができました。中には厳しい御指摘をいただいた点もありますが、これらは、さらに良い学校運営を実現させるための御要望や改善点といえます。この集計結果とまとめは、多くの皆さんが、細かい評価項目に真剣に取り組み、答えていただいた結果です。教職員一同、これを真摯に受け止め、一丸となって、より一層の教育の充実に邁進して参ります。ありがとうございました。